

「横浜市消防本部庁舎整備に伴うレイアウト業務委託」契約結果

横浜市消防本部庁舎整備に伴うレイアウト業務委託について指名型プロポーザル方式で受託候補者を特定し、次のとおり契約しました。

1 件名

横浜市消防本部庁舎整備に伴うレイアウト業務委託

2 委託内容

令和2年(2020年12月)着工、令和6年度完成予定の消防本部庁舎の内部レイアウトについて、快適かつ機能的な執務環境の構築や、来庁者の利便性を考慮した空間を整備するとともに、円滑に供用開始するため、令和2年度から令和5年度まで業務を委託するものです。

3 契約の相手方

株式会社 オカムラ

4 契約金額

4,963,200円

5 契約日

令和2年8月31日

4 評価結果(評価委員6名による評価)

提案者	評価点数 (600点満点)	順位
株式会社 オカムラ	570点	1
コクヨマーケティング株式会社	540点	2
株式会社 イトーキ	437点	3

5 評価委員会開催経過・評価基準等

- 日時・場所
令和2年6月30日(火)9時00分～ 消防局4階402・403号会議室
- 評価委員
7名中6名出席
- 主な発言内容
評価結果のとおり、「株式会社 オカムラ」を受託候補者、「コクヨマーケティング株式会社」を次点とする。
- 評価基準
添付のとおり

6 問い合わせ先

消防局施設課 TEL 045-334-6405

提案書評価基準

1 評価事項

表 1

評価項目	評価の着目点	配点	評価	評価点
業務実績等 (20点)	企業における本業務と 同種・類似業務実績	10		
	配置予定者の 業務実績・経験等	10		
提案内容 (80点)	業務内容の理解度	15		
	業務実施方針の 妥当性・実現性	35		
	業務に対する意欲	10		
	業務の進め方	20		
評点の合計 (100点満点)				

2 評価方法

(1)各評価項目について、次のように評価を行う。

ア 業務実績等は、A、C、Eの3段階評価を行う。

イ 提案内容は、A、B、C、D、Eの5段階評価を行う。

(2)評価点について、次のように配点を行う。

ア 3段階評価の項目は、それぞれの配点に、換算した評価（A = 5 / 5、C = 3 / 5、E = 0 / 5とする。）を乗じて算出する。

イ 5段階評価の項目は、それぞれの配点に、換算した評価（A = 5 / 5、B = 4 / 5、C = 3 / 5、D = 2 / 5、E = 0 / 5とする。）を乗じて算出する。

例えば、表1において配点15点の項目の場合は、以下のようになる。

評価がAであれば評価点は $15 \times 5 / 5 = 15$ 点

評価がBであれば評価点は $15 \times 4 / 5 = 12$ 点

評価がCであれば評価点は $15 \times 3 / 5 = 9$ 点

評価がDであれば評価点は $15 \times 2 / 5 = 6$ 点

評価がEであれば評価点は $15 \times 0 / 5 = 0$ 点

(3)各評価項目の評価の視点は表2のとおりとする。

表2 評価の視点

評価項目	評価の着目点	評価				
		A	B	C	D	E
業務実績等	企業における本業務と同種・類似業務実績	同種・類似業務と考えられる業務実績が3件以上がある		3件以上の業務実績がある		業務実績が2件以下である。
	配置予定者における業務実績・経験等	統括責任者を含め、十分な経験等を有したものが複数配置されている。		十分な経験等を有したものが配置されている。		十分な経験等を有したものが配置されていない。
提案内容	業務内容の理解度	特に優れている	優れている	普通	やや劣る	妥当ではない
	業務実施方針の妥当性・実現性	特に優れている	優れている	普通	やや劣る	妥当ではない
	業務に対する意欲	特に優れている	優れている	普通	やや劣る	妥当ではない
	業務の進め方	特に優れている	優れている	普通	やや劣る	妥当ではない